

総務省消防庁が「2011年版の消防白書」を公表したそうです。
例年と異なり、東日本の震災に多くのページが割かれているといえます。

東北被災地の消防署も多くが流され、
3県で、消防本部などの拠点被害も大きく、
亡くなったり行方不明の消防職員も27名…
全壊16ヶ所、半壊11ヶ所、一部損壊が122ヶ所
ポンプ車や救急車など75台が使用不能になったといえます。
消防団の詰所なども412ヶ所が使えなくなった。
そんな状況下で、
震災から3ヶ月間の避難所などへの救急出動件数は、3県で4500件超に
上っているといえます。

被災地では、いまだに、苦闘が続いている現実があります。
のりこが7月に、ボラで、釜石市に入った時にも、
災害対策本部横の広場に大きなテントが張られて、消防車両が何台も並んでいました。
通常の拠点は使えないのだろうか…と思いながら、その様子を写真に収めたことです。